

ミクロ経済学Ⅰ

松島齊

A1 セメスター (10月4日～11月16日)

金曜3限4限 (13:00～14:45, 14:55～16:40)

計12回 (6週×2) ZOOMによる遠隔授業

ホームページ: <https://www.econexp.org/hitoshi/>

スライド: <https://www.econexp.org/hitoshi/lectures21.htm>

- ミクロ経済学 A1 と A2 を両方履修すること
- A1 と A2 の試験は来年 1 月末からの試験期間中に合わせて行う
- A1 と A2 とともに同じ評価をつけることになる（例年と同様）
- 各章の最後に宿題を出す。宿題の提出回数（不適切な提出物を除く）は成績の評価点の 20% になる。
宿題のダウンロードおよび提出は「ICT-LMS」にアクセス！
出題日から 1 週間以内に提出すること。

A1 セメスター：初級ミクロ経済学

- 第1章： 経済学の基本原理
- 第2章： 需要と供給の法則
- 第3章： 余剰分析
- 第4章： 外部性と公共財
- 第5章： 企業行動と競争市場
- 第6章： 不完全競争
- 第7章： 労働市場の経済学

A2 セメスター：中級ミクロ経済学

第 8 章：消費者行動の理論

第 9 章：一般均衡とパレート効率性

第 10 章：意思決定の理論（1）

第 11 章：意思決定の理論（2）

第 12 章：ゲーム理論と寡占（1）

第 13 章：ゲーム理論と寡占（2）

第 14 章：情報の経済学

第 15 章：社会的選択理論

第 16 章：マーケットデザイン、メカニズムデザイン

初級ミクロ経済学

初級ミクロ経済学の準教科書：どちらかを読むこと

(M) マンキュー 「経済学ミクロ編 (第4版)」 (東洋経済)
World Standard !

(A) アセモグルその他 「ミクロ経済学」 (東京経済)
新しい教科書

- ・ 講義は主に M の内容を解説する

副読本：

松島斉 「ゲーム理論はアート」 (日本評論社)
ティロール 「良い社会のための経済学」 (日本経済新聞社)

第0章：イントロダクション：経済学を学ぼう

- 暮らしのことがよく理解できる
- よい選択（意思決定）について真剣に考えることができる
- 社会の問題に興味をもつようになる
- よい政策とはなにかについて理解できる

「経済学的に考える」ことを学ぼう

- Motivation :** 経済学的に意味のある問いとはどのようなものか
- Approach :** 問いに答えるためにはどのような方法で分析したらいいか
- Contribution :** どのような答えに経済学的な価値があるのか

経済学とは「選択の科学」である

経済主体： 個人（消費者、労働者）
企業（生産者、会社組織、事業者）
政府（政策当局、自治体）
教員、公務員、**NPO**

選択肢： 財・サービス
資源、生産要素
公共財、コモンズ
教育
経済活動、社会活動

希少性 (Scarcity)

資源や財・サービスには限りがある。どのように配分されるか

事実解明的理解 (positive) : 現実はどうのようになっているか？

規範的理解 (normative) : 望ましい配分はどのようなものか
どのようにすれば達成できるか
現実には望ましい配分か

配分の良しあしを評価する二つの視点：
「効率性」と「公平性」

効率性 (Efficiency)

希少な資源や財・サービスから社会が最大限その便益を獲得できているか
(生産活動に無駄はないか、欲しがっている人に財が配分されているか)
余剰概念、パレート最適性 (効率性)

公平性 (Fairness)

希少な資源や財・サービスが社会の構成員にバランスよく配分されているか

- 経済学は、効率性の観点からは優れた政策を提供しうる。
- 公平性については、経済学の貢献はより限定的である。
- 公平性は政治的決着にゆだねられるが優れた政策は提供されていない。

制度設計

資源・財・サービスが配分される仕組み（メカニズム）を理解する

中央集権的決定メカニズム：

政府や権力者が代表して配分を決定する
課税、公共財
政治による決定

分権的決定メカニズム：

個人や企業が個別に決定
相互依存
私的財
市場による決定：「見えざる手」

自主統治（**Self-Governance**）： コモンズ（共有地）の持続的成長
互惠性

中央集権的決定メカニズム VS 分権的決定メカニズム
資本主義（自由放任） VS 社会主義（計画経済）

現代は高度な資本主義社会
市場のみならず政府の役割も大きい（市場の失敗）

さらに高度な資本主義へ

持続可能性： 環境問題（気候変動）
未来世代との社会契約
利己的動機（**Self-Interest**）と向社会的動機（**Pro-Social Motives**）
ESG（Environment, Social, Governance）
コロナ後の社会

デジタル経済

第 0 章 終わり

宿題なし